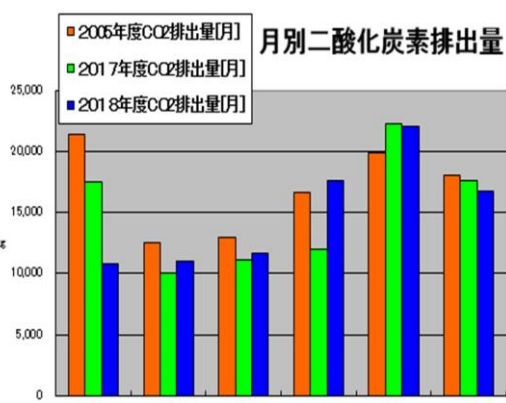


TEASだより

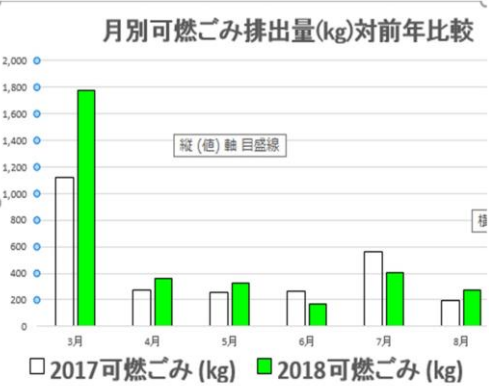
年も明けて、3年生が制服で学校に通う日もあとわずか。これから3か月たないうちに、卒業生も在校生も新しい出会いを体験することになります。

ただ、これまでのことを振り返りながら、環境学習やTEASの取り組み・学んだことも、忘れないでほしいものです。

以下、TEAS委員会報告に関連させて、環境に関する取り組みを振り返っておきましょう。



- ① 昨年度の環境改善目標の達成状況
- ② 今年度の環境改善目標の確認
- ③ 今年度の取り組みの確認
- ・第二回目 11月21日(水)
- ① 保健委員長の報告
- マイボトルの持参率は80%をテーマに学級単位で俳句や標語を作成しました。
- ② 今年3～8月までのCO2総排出量と廃棄物量の報告



上のグラフの通り、CO2排出量は昨年とほぼ同じです。可燃ごみ廃棄量のグラフ(右)を見ると、昨年よりも3月が大幅に増えています。年度末、大量のごみを出さないためにも、ごみの発生を最小限にする工夫をしましょう。



2018年7月 西日本豪雨

「温暖化」の影響②

経験したこともない集中豪雨で洪水・土砂災害
ついに鳥取にも出た 5 警報

千代川氾濫危機だった

西日本豪雨 「やばい」あと10センチ
戦後2番目の水位 水量

千代川氾濫(想定) (m59)



「環境学習はその後の取り組みにつながった」という報告もありました。

○期間を区切った「ごみ減量」

11月26日以降 環境委員会での確認を経て、二週間ほど集中して「ゴミの減量と点検」に取り組みしました。

それ以前と比べてややゴミが減りましたが、振り返りの環境委員会でも「多くの生徒はゴミ持ち帰りのルールを守っている」こ



④ 愛し愛され運動について
(生徒会長の報告に関連して)

第1回目は6月12日(月)に、第2回目を11月10日(金)に実施しました。

ゴミステーション前で説明

清掃活動は、地域・学校の環境整備という意味で「環境配慮活動」として位置づけています。

「環境整備」を自らの問題として取り組むことは、気候変動防止の意識や活動にもきつとつながっていくことでしょう。



「草や剪定ゴミなどは、焼却するのではなくゆつくり土に戻すという方針で処分。ゴミ処理に伴う環境への負荷を小さくするように取り組みました。

⑤ その他

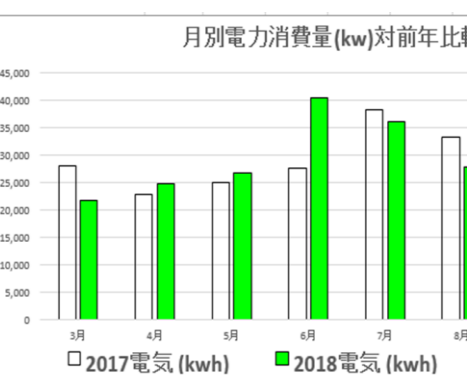
生徒玄関前の食堂のごみ箱の使用状況改善のためにポスターを作成することを決め、現在掲示しています。

※2018年前期の廃棄物量とCO2総排出量の「まとめ」

第一回のTEAS委員会「2005年のCO2総排出量を基準に16%減」を目標として設定しました。実際に2018年3月から8月までのCO2排出量を確認したところ約11%の減で目標には到達していません。

また、電力消費量は、前年度と比較してほぼ同量でした。

トイレをはじめ色々な場所の「電灯消し忘れ」をなくす等、可能などころでしっかりと節約に取り組んでいくことが大切です。



TEASの確認審査のため、11月30日(金)にTEM研究所職員に来校いただきました。

環境学習・マイボトル運動をはじめとする環境委員会や保健委員会の取り組み、愛し愛され運動等にも見える生徒の自発的活動などが評価されました。

環境管理マニュアルに関する助言もいただき、約3時間におたる審査を経て、本校はTEASⅡ種の更新条件を満たしているという審査結果が出ました。